

管轄役務兼員

四

0547

先
軍令印

次長

第一班

第二班

第一班

副官 程整

參事官

發付
一九一一年一月九日

四十二年一月六日起案

大臣 庵

次官

軍務局長

人事局長

局員

經理局長

局員

政本部長

第二部長

第三部長

會計課

安未

明治四十二年一月九日

大臣

五十八

0548

横鎮、局長友志

工化船関東丸任務ニ関スル件

工化船関東丸、準備整頓次第中、臺灣方面

ニ回航ニ専ラ測量ノコトニ從テセシメ測量ヲ

業ニ關シテハ、水路部長ノ指揮ヲ受ケルムニ

(本件水路部長、佐野清三郎氏、臺灣總督、可云云)

郵政省、通達局

(終)

官房第五八號ノ二案

明治四十一年一月九日 大臣

0549

三

水路部長

佐藤 入道長友

佐藤 理智

三上 高徳 入道長友

各通

(東京坂本館)

工部局事務主任職務之兼任ニ付

別紙ノ通指信候様迄書付及長友一及訓令
候事付与心付ヘシ

(別紙一系係)

(終)

海軍

0550

宣必為、地皇之靈、乃亦所行、於此、
於申、之、人

終

洋 頁

(久保田 練)

0552

先
軍令部長
次長

第一班
第二班
山室
島根
山本

副官
整理
吉川 參事官

早
一
年
二
月
廿
一
日
起
案

大臣
陸

次官
陸

軍務局長

局員

大南
田中

海軍局長

局員

局員

桑

教育本部長

副官

副官

副官

艦政本部長

副官

第二部長

部員

部員

指令案

明治四十一年二月二十七日

海軍大臣

官房第六三〇號

海軍大臣

0553

舞鎖第八七號之第一條清驅逐艦轉泊

件並官區内及隣區内之條認認

但シ豫滿船艇規則第三條之條ハ航日數中

シテ生復日數トシ航海加奉海軍給與令

施行細則第三十條第二項之條ハ准據ニ指定

地到為ノ翌日ヨリ其地出航ハ前日マテハ文給與

ル係上心得

紙

0554

舞鎮第八七號ノ二

明治四十一年二月十九日

舞鶴鎮守府令長官男爵日高桂之丞

海軍大臣男爵齋藤実殿



第一豫備駆逐艦轉泊ノ件

本軍港附近冬季ノ天候極々不良ニシテ殆ント
 雨雪ヲ見ザレバ且ツ海上險惡ニシテ小型艦艇ノ
 出動ニ適セズ故ニ駆逐艦ノ如キ冬季閑巡航日數
 ヲ有ルモ不係空シク港内ニ繫留シテ人主然甲板上
 各種訓練ヲ廢シハツテスカイライト及舷窓等ヲ
 廢止スルニテ暗キ下甲板於テ不完成ニ練習スル

官第...
號

毎

五

二廿一

三三三

0555

的坐些子ヲ行ヒ若クハ艦内ノ保存手入ニ從事スルニ過ズ
 徒ラニ教育年度ノ初期ヲ消費シ然期ニ於テ日取モ
 緊要ナル秩序の訓練ノ実施ヲ無視スルノ已ムヲ
 得ザルニ至リ徒テ春季ニ入ルニ巡航日數ノ關係上亦後
 引続キ施行スベキ各種教育訓練事項一時ニ輻
 湊シ自然ニ秩序ヲ實施ヲ余儀ナラセズニ至ルノ
 遺憾甚カラス仍テ今管区内若クハ他管区内ニ適當
 ナル港灣ニ轉泊シ茲ニ天候ノ支障ナリ各種ノ訓練
 ラ實施スルコトヲ得バ如上ノ欵旨ヲ補足スル上ニ於テ
 大ニ利益可有之思考候条第一豫備駆逐艦ヲ
 シテ毎年一月二月ニ於テ三週間以内ヲ限リ軍港外ノ
 港灣ニ轉泊シ該往復日數ハ巡航日數ヲ以テ
 之ニ充テ轉泊中ハ軍港繫留ト同一取扱ノ

右ノ上申入
下ニ詮議相成様致度

海

軍

終

0557

先
軍令部長 兼 卿

次

第一班
第二班

島根

平塚

副官

阿塔

宗

參事官

發行高

甲一 年二月十日起案

三和

大臣

次官

軍務局長

局員

陸軍省

大南

官房第一〇六號
明治四十年三月十六日

案

大五

海軍

0558

長谷川公良

海軍

軍艦大和任務之圖

軍艦大和測量艦之準備書頭上之測量

任務之進行と取手

大洲令

終

官房第

〇六號 二 内案

海軍上之在十六

下

水師部長

軍艦大和任務之圖

右の如く海軍上之在十六の測量艦大和の任務之図を呈す

0559

得己

右海軍

(海軍省)

(印)

海

軍

0560

此
此
此

軍務局長
 電指
 市官房二〇六八師二〇軍艦隊部
 八難役船毎トシ練習為格也其内兵
 二附屬九トシ
 四十年五月十六日
 横鎮長深長
 横鎮長深長

軍務局長
 局長
 海軍

海軍



0561 件



0562

葉

中津藩の書

清水持出の書

廣尾村業政の書

左邊の書

右邊の書

...

...

...

...

...

(I)

右邊の電張

...



索
お待電話面々編

四十年五月十一日 見 少坊軍防内々欠

清水修水只送防部副官宛

廣昭接乘防属承既ノ件

右ノ圖レ本月八日照會、越了承承件

ハ當該鑄字府司令長官官、ノ上申、俟

コテ詮議スルハキモノニ有九具者、於首本、部

當内者、於了承知ノ事、ハ右圖、於首本

毎
頁

0563

御長ノ鎮守府司合長官ト交渉ノ事
追テ上申可相成事ト被存其節は佳
議可成候旨ニ付河合ノ御左見込ハ
輸送方見合可致ト存美
右回着分申進ス

(納江口)

0564

起案紙第一號

明治二十一年六月六日起案

五月七日發行

大臣 梅

次官

總政部長

副官 村松

參事官

軍務局長 代



局員



會計課長

第二部長

第四部長

第三部長



發行後起案者捺印



明治二十一年五月七日

老後九時分同文付

發送官房第一九二二番

海軍

40-67

0567

世保親手所存指汽和老決起
河防付流時付時局ト定ム
右列合ス

(決)

幸江ハ去ニ三子リリ自達ニテ去リ
在居ノ世保親手所存指汽和老決起
日二日トシテ當ルハ河防付流ノ時
河合ハ亦ハ未ク其世保親手所存指
汽和老決起ノ時トシテ

世保親手所存指汽和老決起ノ時トシテ

佐鎮第一八號之五十二

以治字之生り也

大正五年三月廿五日



男青井海一君致事打書

老法丸之案之件

形在男一五一人舞老法丸之案之

内里公之件之系同解考朽也

大修理之施之便生之之現今由同

辨第一五ノ内ノ便用ニ供セラシムルカ

海

庫

0569



故し之に付、フノキ船艇ヲ修繕し、町人、病者
 等を、方々行、方々、舟、乗、テ、上、り、こ、ま、臨、海、所、に、候、候、
 隊、ノ、以、上、に、尚、重、役、艇、二、隻、流、艇、二、隻、
 ノ、増、設、方、ヲ、要、求、し、来、り、上、見、状、態、十
 二、ノ、寧、日、在、船、ノ、使、用、し、得、り、限、り、手、修、便
 用、之、ん、方、一、心、意、を、尽、す、者、候、
 右、田、名、人

(張)

(注) 此項は、原書に於て、

0570

軍務局長

局長



小休

無

4-13
20

艦政本部長



會計課長



旧水軍 辛酉月

本部長

佐竹長

老後丸、國さん件

津海付内林、官原中、老後丸、現状、幸

辛酉月、老後丸、定期検査、係、係、係

幸、老後丸、大修理、又、又、又、又、又、又

抱、抱、抱、抱、抱、抱、抱、抱、抱、抱

カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ、カ

明、明、明、明、明、明、明、明、明、明

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

0571



右
左
ノ
ス

蘇
本
舞
ノ

洋
館

(久保田納)

0572

為世之後便也第朝也又

海屋

0574

山

起案紙第一號

明治二十一年三月廿二日起案

三月廿二日發行

發付後起

陸海

艦政本部長

第三部長

陸

海

大臣

次官

參事官

副官

第二部長

會計課長

久野

陸

軍務局長

陸

員

陸

小林

經理局長

陸

局員

陸

陸

明治二十一年六月二十四日

海軍大臣

海軍大臣 陸海軍大臣 陸海軍大臣

海軍大臣 陸海軍大臣 陸海軍大臣

發送 官房 二二三七號

0575

川浪行

官房第

三三七號

川浪行

明治二十一年六月二十四日 海軍大臣

徳子

横濱

運納

付

徳子

太利

一 ランチ

巻集

一 ビニヤス

巻集

0577

0576

一カマシ

斗

修

0578

舞鶴受五十八日

五十八

司令長官



参謀長

伊地知

参謀
副官

長

舞鶴國籍

五〇六

明治三十二年五月十八日

舞鶴海兵團長代理海軍中佐菅末博



五月十八日

舞鶴

舞鶴鎮守府司令長官代理海軍中將男爵中溝徳太郎殿

舞鶴部

第三部長

右の如く五月十八日午時附船相成事件
此際附船以藉軍事片断端身不足
之旨を奉りて臨時附属せしむる事
右の如く申す

官房第二三三號

吉ノ支

0575

起案紙第一號

明治三十二年六月廿二日起案

起案者捺印

二月廿日發行

發行後起案者捺印

於案 艦政部長



第三部長



郵員



大臣

次官 參事官



參事官

會計課長



副官



第二部長



軍務局長



局員



經理局長



主任局員



明治三十二年六月二十七日

海軍大臣

海軍大臣 櫻井大佐 謹啓

海軍省第二七二號

0581

艦政本部

第三部

横須第 〇三號ノ二

明治四十一年五月二十二日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

海軍大臣 男爵齋藤 實殿

港務部保管、遺的船之海兵團ハ

附屬ノ件

横須賀海兵團附屬艦中、庚午年使
用ノ結果、既に府内朽毀損、最早一使
用ニ堪ハサルモノ有之候、付来ル四十二年
度、於テ引揚方實施、可相成等ナルモ
襄備リ定数不足、為来ル六月一日入團

官房第三七二號

一

五

0585

0583

艦政本部

第三部

横須賀

〇三號ノ二

明治四十一年五月二十二日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

海軍大臣男爵齋藤

港務部保管

附屬ノ件

横須賀海兵團

用ノ結果既ニ府内

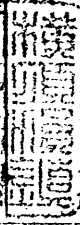
用ニ堪ハサシテ有

度ニ於テ引換方

異情ノ定数不足ニ為来ル六月一日入團

官房第三七二號

Handwritten notes and signatures in cursive script, including a large signature that appears to be '上村彦之丞'.



0584

0583

世にやうやく
のあふり本

海軍

可致五等卒、練習、支障、生、ト
ト相成候間、横須賀海軍機務部係
管中、左記還納船、再々練習
用ト多、横須賀海兵團、附属セシメ度
右、上律、ス

公称第三八号、カッター、艦隊、老、還納、シ
第一四三号、傳馬船、旗、順、老、還納、シ
傳馬船、元軍艦、扶桑、還納、シ
傳馬船、右、全

終

0586

手紙

艦政本部長



第三部長



第四部長



第二部長



會計課長



部長

兼部長



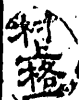
少佐



0587

七七

副官



参事官

發行所

大臣

定年七月六日起案

七十七

次官



軍務局長



局員



經理局長



明治三十二年七月十日

海軍省

官房第三〇六五號

起案罪紙第二號

明治三十一年七月五日 起案者 起案者 七月五日 發付 發付後起 案者捺印

主務 軍務局長

局員



小林

小林

大臣

副官 村松

次官



參事官

電案

明治三十一年七月五日

保存

檢鎖七在宛

軍艦隊の重、特別任務ヲ請ハラル、内務中何分、
刑部下子監出港ヲ具申セシメタリ

發送 番號

海軍



0589

件

形勢

五月廿四日、同、共、未、月、十、高

0590

ニ、ア、ラ、ガ、シ、バ、出、港、出、来、ハ、満、州、英、ニ、於、テ、火、薬、ヲ、搭、載、シ、テ、濟、南、ニ、於、テ、今、回、無、電、信、

ヲ、終、調、査、ス、ル、十、四、日、頃、ニ、英、ニ、帶、在、ス、ル、様、

横、濱、の、電、報、局、

野、上、英、代、の、殿、

其、頃

京、都、ヨリ、水、の、博、士、カ、導、之、出、張、ニ、由、線、

電、信、機、ノ、装、備、ヲ、大、々、修、リ、八、日、出、港、

0291

0820

ノ事之十カ答テス右は裝備之五六
 カカントノ「テスカ」八月の頃
 空の港に得ル「トナリ」得ル見
 込テス「ソ」ニテ航海シツ鍋埵ト
 通信ヲ試ミシ答テス横ス勿ヘ著
 コタニ上ハ先ハ火薬ヲ陸揚シテ
 ノ出来上リヲ待テ共々出港ノ
 「ニ」テ定テス

0591

電報送達紙

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取扱者	受午後七時	受午後七時五分	七月五日	第三局	ヨコハマ局
	三三ノ字				
<p>由中、向、所、住、所、 由、中、向、所、住、所、 由、中、向、所、住、所、 由、中、向、所、住、所、</p>				<p>急 事記</p>	
0593				0592	



京都大子ノ水地博士ト格リカクノ水香
 學校ノ里敷上田ノ同地無原電信ト
 比較油壺ヲ云々為高州ト言ヨリ使ハ
 ル、福屋内油壺一其油壺ハ大田外
 中坊ノ中心トシテヤラハ、吾テス而シテ
 高州ハ吾テ水地式ノ電原電壺ヲ世
 傳シ高州ハ里敷上田式ヲ世傳シ大
 田外ハ吾テ里敷上田式ヲ世傳シヤラハ、
 吾テス而シテ京都大子ノ水地博士ハ二
 十六日頃ニ行ク吾テス而シテ京都大子

京都大子ノ水地博士ト格リカクノ水香
 學校ノ里敷上田ノ同地無原電信ト
 比較油壺ヲ云々為高州ト言ヨリ使ハ
 ル、福屋内油壺一其油壺ハ大田外
 中坊ノ中心トシテヤラハ、吾テス而シテ
 高州ハ吾テ水地式ノ電原電壺ヲ世
 傳シ高州ハ里敷上田式ヲ世傳シ大
 田外ハ吾テ里敷上田式ヲ世傳シヤラハ、
 吾テス而シテ京都大子ノ水地博士ハ二
 十六日頃ニ行ク吾テス而シテ京都大子

0594

一、事、
 丸、
 廿、
 二十、

在

海軍

0595

右轉

總務本部長



第三部長



部長



第二部長



會計課長



副官



参事官



大臣

次官



望月七川少二川起案

發見物

國務局長



局長



總理局長



秘書長



主任局員



副官



部長



昭和七年七月二十九日

海軍大臣

重光葵

官房第三〇九二號三

一頁

0596



原簿

還納簿

所屬簿

名簿

720

2-20

江 軍

二隻傳馬打一隻檀邊船出向
時所
以
於
時
所
と
し
て
語
行
不

(依)

0597

艦政本部

第三部長

第二部長

横領第 〇五五 號ノ二

明治四十一年七月十八日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦

海軍大臣男爵齋藤 實殿

海兵團ノ舩舟附屬ノ件

一カツター

貳隻

三五二、モ五七

一傳馬舩

老隻

一〇二一

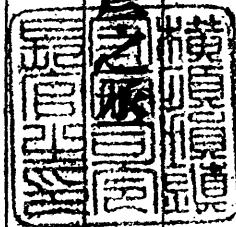
但シ元重艦摩耶附屬ノモノニシテ本月廿五日海兵團ヨリ

還納ノモノ

前記舩舟横須賀海軍港務部ニ於テ保管中

有之候處新兵練習用トシテ雜役舩摩耶

官房第三〇九之號



モ五五

0598

ニ於テ使用、必要有之候條横濱海兵團ノ附
屬、儀御認許相成度
右申上

終

0599

海軍部

軍務局

第4号下三。九

明治四十一年四月一日

海軍教育本部長男爵出羽重遠

海軍大臣男爵藤原謙

除籍艦、舟艇ヲ教育材料トシ海兵團ニ

附屬セシムルニ度件

除籍艦搭載、舟艇左記區別ニ依リ五等卒教育
材料トシテ本艦ト同様（軍艦扶桑ヲ除ク）附屬セシム
ニ度

附屬艦

舟艇種類

海兵團

摩耶

（三十三噸）
（三十三噸）
（三十三噸）
（三十三噸）

横須賀

同

（三十三噸）
（三十三噸）
（三十三噸）
（三十三噸）

同

官房第一三四九號

手紙の付

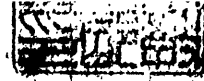
久保田納

四ノ二

四ノ二

0600

教育
七



三
三
三

0600



協政本部

會計課

以下

第三部
第四部

車營

本件必要下認、及付一時付
付、子、の、統、計、控、制、系



4-17

0601

4-8

行方
し

五ノ公三三

鳥海

「カッター」(三十三呎)
「ボート」(二十二呎)

壹隻

佐世保

同

通船

(三十五呎)

壹隻

同

扶桑

「ランナー」(三十五呎)

壹隻

同

「ボート」(三十呎)

壹隻

舞鶴

同





「カッター」(二十七呎八寸) 貳隻

右上申ス

(終)

支

於
本
部

<p>監事部長</p>	<p>第四部長</p>	<p>部長</p>	<p>部長</p>		<p>會計課長</p>				<p>四十一 年八月</p>	<p>本部長</p>	<p>島上部長</p>	<p>保証機師要則限件</p>	<p>保証機師要則限件 アトキンソン</p>	<p>昭和十一年十月十日</p>	<p>豫定 大演習</p>	<p>三 月 三 日</p>
-------------	-------------	-----------	-----------	--	-------------	--	--	--	--------------------	------------	-------------	-----------------	----------------------------	------------------	-------------------	----------------------------

0603

溜

